



週報

カトリック 園田教会

A年

2014年
3月9日(日)

No. 1890



3月9日(日) 四旬節第1主日

ミサ・洗礼志願式 9:00 ボナツィ神父

四旬節愛の献金

今日の聖歌と祈り

入祭の歌 : 典礼聖歌 63 神は恵みと あわれみに満ち

答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください

詠 唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください

奉納の歌 : 典礼聖歌 77 神よ あなたの道をしめし

拝領の歌 : プリント みこころに (カトリック聖歌287番)

皆で唱える祈り : プリント 東日本大震災被災者のための祈り II

閉祭の歌 : プリント あわれみの み心よ (カトリック聖歌161番)

今日の典礼奉仕者

先唱	本田
聖体奉仕	田口
第1朗読者	馬場(壮)
第2朗読者	小野
共同祈願・意向担当者	① 山下(壮) ② 豊嶋 ③ 平田 ④ 古市
奉納と献金	婦人会
典礼当番	佐藤、市瀬
答唱詩編	全員
オルガン奉仕者	石垣

今日の行事・他

- ・大人の日曜学校
- ・日曜学校 ・中高生会
- ・サン・ジュゼッペ聖歌隊の練習(ミサ後聖堂)
- ・パウロ書院 書籍展示販売

お知らせ

- ・「2014年3月度定例評議会報告」と「2014年4月度行事予定表」をお持ち帰りください。
- ・先日お知らせ致しましたように「東日本大震災被災者支援募金」を来週(第3日曜日)行います。ご協力よろしくお願い致します。
(園田教会 社会活動委員会)

[回心の季節]

四旬節は回心の季節であると言われます。

「時は満ち、神の国は近づいた。回心して福音を信じなさい」

(マルコ1・15)。

これは宣教を始められたイエスさまの最初の言葉ですが、ここにイエスさまの教えの核心が言い表されています。

「時は満ち」とは、今が神の恵みの時となったということです。「神の国が近づいた」とは、神さまがいつもいっしょにいてくださるということです。「回心して」とは、心の向きを変えること。そして福音とは“良いお知らせ”つまり神さまがいつもいっしょにいてくださること、最終的にわたしたちをつかまえて離さないのは悪ではなく、善いお方、神様なのだということです。

「回心して、心の向きを変えて、その良いお知らせを信じなさい」。これがイエスさまのわたしたちへの呼びかけです。そしてイエスさまこそ、いっしょにいてくださる神さまのしるし、その“良いお知らせ”そのものなのです。

ですから四旬節とは、「わたしたちの顔をイエスさまに向ける時」ということができます。

(資料提供 園田教会典礼委員会)

来週 3月16日(日) 9:00 ~

ミサ・黙想会が行われます。ご参加ください

黙想会:指導司祭 山内十束神父様(御受難会)



今週の暦

3月10日(月) 集会祭儀 6:30～

3月11日(火) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

3月12日(水) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

3月13日(木) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

3月14日(金) ミサ・十字架の道行 19:00～ ジョヴァンニ神父

3月15日(土) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父
・入門講座(9:00～10:00)
・教会清掃(ヨゼフ会)

3月16日(日) 四旬節第2主日 四旬節愛の献金
ミサ 9:00 山内十束神父(御受難会)
ジョヴァンニ神父

黙想会:指導司祭 山内十束神父

・日曜学校

・中高生会

